

# 婦人職業問題

## 婦人職業問題

労働問題は大戰終了後各國共に盛に論議されて居るが我日本に於ても亦著しく高調される様になつた。併し我國の労働問題の論議は歐米のそれとは幾分異つた意味で問題が取扱はれて居る様である。歐米では戦時中男子労働力の代りに女子労働力が多く用ゐられた。然るに戦後になつても此等の女子の労働力を其まゝで用ゐて置けば出征して居た男子が歸郷した場合に失業の運命に陥らねばならぬ。それでは困るから女子の労働力を調査して適當の方法を講じ男子の労働力と衝突しない様にして行かうと云ふ點が労働問題の一重要點となつて居る。即ち男子對女子の労働力の問題が一大問題となつて居るのである。最近婦人労働者が如何に多く増加したかと云ふに英國政府の調査によれば英國にては職業婦人は一九一四年七月に三百二十七萬六千人であつたのに一九一九年四月には四百八十萬八千人

となり百五十三萬二千人を増加して居る。而して此増加人員中直接男工に代つたものは百五十一萬六千人の多數であると言はれて居る。同國職業婦人の増加内譯は次表の如くである。

| 職業別  | 一九一四年    | 一九一九年四月  | 同上男工に代りし者 |
|------|----------|----------|-----------|
| 工業   | 二、一七、〇〇九 | 五、三〇、〇〇〇 | 三、一三、〇〇〇  |
| 官業   | 二、〇〇〇    | 一、七〇、〇〇〇 | 一、六八、〇〇〇  |
| 瓦斯工業 | 六〇〇      | 四、〇〇〇    | 四、〇〇〇     |
| 氣工業  | 八〇、〇〇〇   | 九、〇〇〇    | 四、〇〇〇     |
| 農業   | 一七、〇〇〇   | 七、〇〇〇    | 七、〇〇〇     |
| 交通業  | 一、二〇〇    | 一、八〇、〇〇〇 | 一、七〇、〇〇〇  |
| 電業   | 九、五〇〇    | 六、三〇、〇〇〇 | 五、五〇、〇〇〇  |
| 銀行   | 四六、〇〇〇   | 三五、〇〇〇   | 三五、〇〇〇    |
| 商業   | 五〇、五〇〇   | 五〇、〇〇〇   | 二、五〇〇     |
| 獨立職業 | 二八、〇〇〇   | 二五、〇〇〇   | 四、〇〇〇     |
| 女給仕  | 六〇、五〇〇   | 五九、五〇〇   | 六、〇〇〇     |
| 郵便事務 | 五、五〇〇    | 九、五〇〇    | 六、〇〇〇     |
| 文官   | 一六、二〇〇   | 三、〇〇〇    | 六、〇〇〇     |
| 地方文官 | 一六、二〇〇   | 三、〇〇〇    | 六、〇〇〇     |
| 總計   | 三、三六、〇〇〇 | 一、五三、〇〇〇 | 一、〇六、〇〇〇  |

數の上に斯様な増加を示した職業婦人は更に其労働力の質の上に如何なる能力を有つて居るか云ふに、此

點に就ては米人マーチングリーン氏が英佛に渡りて親しく調査した結果次の如く意見を發表して居る。

(一)普通以上の力を必要とする以外の仕事に於ては婦人は幾分遅いのみで如何なる仕事でも男子と共にす事が出来る。而して仕事の速度も経験によりて早くなる。殊に手を用ふる職業に於て然りである。

(二)婦人は男子と同様に鋭敏であつて注意及び正確を要する仕事に於ては多くの雇主は寧ろ婦人を選ぶ者さへある。

(三)婦人は自然のハンディキャップあるにも係はず仕事に就て規則正しい事は男子に優る。

(四)英國及佛國にては職業婦人の作業を拘束する子供の收容機關が完全に出来てゐるから子供の爲に作業を妨げらるゝ事はない。

(五)婦人は労働の結果が有利であると知つた場合には其職業に對して多くの持續力を持ち轉勤、轉職は比較的尠い。

歐米に於ける職業婦人の數及び婦人の労働能力が斯様な状態にありとすれば單に男子の労働力と競争になるからとの理由で婦人の労働力を排除する譯には行かない。一方に於て戦争に参加し最も多くの犠牲を拂ふたものは労働者であるから労働者の地位を向上せしめ様と云ふ運動が起れば、他方に於ては、労働は労働能力を主眼として觀るべきで男女に依つて區別すべきものでなく従つて女子も男子と同一の労働能力有するときは男子と同様の待遇(經濟上社會上政治上)を受けべきであると云ふ運動が起る。男が生存權を主張すれ

ば女も生存權を主張する男が労働權を主張すれば女もそれに敗けて居らない。男が參政權を主張するならば女も之に續いて行くといふ状態にあるのが最近歐米に於ける一般の風潮である。而して労働問題も此風潮の中に於て解決を求め此内に於て労働者の生活と地位との向上を計らんと期して居るのである。

併し我日本に於て目下労働問題の論議の中樞となつて居るのは労働者中から暫く婦人を除去した、婦人労働者の事は眼中に置かないで論究される所の男子労働者の問題である。労働組合の必要は随分唱へられて居るけれども之に加入し得るものは男子労働者のみである。男子労働者中でも多少とも自己の地位を自覺して居る高級労働者に限られて居る即ち多くは造船、製鐵、電氣、印刷、機械等の工業に従事する高級職工に限られて居る。然るに我國の労働者は其數より觀れば製糸織物等の纖維工業に従事する者最も多く之を大阪府下の工業状態の調査に觀れば其分布の有様は次の如くである(大正八年二月調)

| 工業別  | 工場數  | 男工      | 女工       | 計        |
|------|------|---------|----------|----------|
| 染織工業 | 三〇八五 | 二七、八八六  | 七五、〇三二   | 一〇二、九一八  |
| 製糸紡績 | △ 四  | △ 九、七六四 | △ 一三、七九六 | △ 二三、五六〇 |

|       |        |         |        |         |
|-------|--------|---------|--------|---------|
| 織物    | 八〇七    | 八、六五五   | 三、九三二  | 四、八〇七   |
| 機械工業  | 五、七六九  | 六〇、九四四  | 五、一五五  | 六六、〇六七  |
| 化學工業  | 二、〇〇〇  | 二七、四四五  | 九、六〇二  | 三〇、〇四七  |
| 飲食物工業 | 一、八〇五  | 六、〇七一   | 一、二五九  | 七、三三九   |
| 雜工業   | 一、四〇八  | 一六、一〇三  | 五、六七九  | 二一、七六一  |
| 特別工業  | 七〇     | 三、八三二   | 二七     | 四、〇三八   |
| 合計    | 二二、三六六 | 一四三、五五六 | 九七、〇九八 | 二三三、五五五 |

又之を工業の發達と云ふ點より觀るも纖維工業は我國に於て最もよく發達せる工業で、輸出品中最重要品は實に纖維工業の製品である。而して此等の纖維工業の従事員はと觀れば前表にもあるが如く主として婦人労働者即ち女工である。して觀れば此等の女工が我國の最重要の工業を維持して居ると云ふてもよいのである。更に又工業全般の上から男女労働者の分布の有様を觀るに大正五年末の統計に依れば職工總數百九萬五千三百人中女工六十三萬六千六百六十九人の多數を占め正に職工總數の五十八プロセントに及んで居る。斯くの如く我國に於ては婦人労働者は數に於ても大なる勢力を占め商業上重要な程度に於て大なる力を有つて居るにもかゝらず、労働問題の高調せらるゝ今日に於ても尙問題の中心から遠ざかつて居るのは何故であるか。それは婦人労働者の大多數が不熟練職工である

からである。女工の多數は熟練職工となるべき作業に従事せず又假りに技術上に幾分の熟練を積むともやがては其技術を捨て、家庭に入らねばならぬ境遇にあるから女工の最大多數は常に不熟練職工として存するのである。然るに男女を問はず不熟練職工は一般に技術上から觀ても知力上から觀ても又は資力上から觀ても労働者内に於て一勢力を形成し得ぬものであるから従つて自ら立つて何等の運動を起す力もなく何等かの方法に於て自己の地位を向上せんとする努力もなさないのである。併し假令不熟練職工であつてもそれが男であれば一生労働を以て生活するのであるから何等かの方法にて自己の地位をよくする道を尋ねる者もあり得る譯であるが、偕てそれが女であつて觀るとやがて家庭の人となり母となるのであるから女工となつても始めから一生女工で暮す考などは持つて居らない。そこでとやかく云ふた所で早速自分等の生活の改善とはならぬと見越して居るから先づ其時々々の安全を祈り自分等女工全般の利益など云ふ事は考へやうともしないのである。是れ我國にて女工が數に於ては大部分を占めながら何等労働問題の中心に觸れて來ない理由である

併し婦人勞働問題は假令女工自身の中より何等の運動が起きないとしても是は單に國民保健の上のみよりしても等閑に附すべきではなからう。其他風教の上よりしても、兒童保育の上より觀ても又は勞働能率の上よりしても職業教育の上から視ても吾人が社會生活をなすからには幾多の問題は女工に就いて惹き起されねばなるまい。

### 北陸地方に於ける女工募集

毎年米の收穫を終り寒い風が冷たい雪を野山に誘つて來る頃になる懷中を膨らました詰襟服の勧誘員が雪に埋れた農家農家を訪れて廻る。そして自分の紡績工場や製糸工場の儲けのよい事、女工に對する待遇のよい事を吹聴する。大きい會社は、所々の町々に募集事務所を置いて手廣く勧誘を努め常に工女の家庭と連絡を取つて姉が退いたら妹妹が行けば親類の従妹もと云ふ様に次から次ぎと縁を辿つて募集をやつて居る。斯様にして雇入れの契約が成立すると工女の旅立の前に下流の家庭では大抵若干の前借りをする。そして娘等は小學校卒業位を最小とし二十四五の嫁入期迄位の者

を最長として地方地方で一團となり舊正月を濟してから旅立をする多くは三月から十一月迄九ヶ月間工場勞働に従事するのであるが併し一度旅立したら年中歸らずに他郷で働く者もある。勞働に従事して居る間に得た金は家庭へ送つて家庭の助けとするのもあるし自分の結婚資金とする者もある。一ケ年の勞働によつて自分の生活費の外に残し得る所は大抵百五十圓位多いのになると三百圓に上る者もあると言はれて居る。

### 滋賀縣下の女中拂底

大阪毎日京滋附録一月卅日所載に依れば京阪地方に女中子守奉公人を多數に送る滋賀縣神崎郡地方では近時女工を使役する製織工場が各地に設立せら 能登川に近江蚊帳會社、八幡町の帆布會社、製線場、彦根町の製絲場、ビロド會社等、及京阪地方よりも女工募集員多數に入り込むを以つて二十歳迄の少女は引張風にて爲めに女中や子守に奉公する少女は拂底したと云ふ

### 東京賛育會の見たる勞働婦

#### 人と分婉

東京本所太平町賛育會妊婦及乳兒相談部にて妊婦、乳兒、及幼兒の保護救濟を昨秋より實行して居るが此所に於て分娩した成績によりて判斷せば勞働に従事して居る婦人は割合に分娩容易であつて本年に入つてからも一月中旬迄に五人の分娩ありしが何れも安産で大抵は分娩後三日位床に居れば其後は起きて自分の始末より子供の世話迄する様になると云ふ。

### 東京に於ける女工の演説

一月廿六日、東京日本橋區魚河岸に友愛會魚河岸支部發會式が擧げられた。其時東京モスリン會社の一女工山内みな子が『婦人部を代表して』と題して演壇に立ち男女の別なく團結力を鞏固にし友愛會の發展に努力したしと云ふ論旨を述べた。女工の演説は珍らしい事として聽衆は喝采した。同婦人は宮城縣生れにて尋常小學卒業後十四歳にて上京し東京モスリン會社に入り目下寄宿舎に寄寓して居るが友愛會には二年前に入會したと云ふ。

### 職業婦人の爲に是非必要な設備

二月三日、逓信省貯金局業務部長は、讀賣新聞に次の意味の意見を述べた。婦人や小兒を工場法にて保護して居るがそれは工場法の適用される場所丈に限られる。工場勞働の外に婦人は尙幾多の業務に男子と相交りて従事して居るが此等の婦人に對しては特に婦人の爲に設けられた設備と云ふものは甚だ尠い。婦人は心身共に男子と同一の定規で以て律する譯には行かない所が多いから其爲に特別の施設が必要である。第一婦人は名聞を重んずること男子よりも強いからして婦人を使用するには任務の名を付けるのに餘程注意しなければならぬ、次に婦人には特別の化粧室なるものが是亦必要である、羞恥の念の強い婦人を男子と同様に取扱ふのは思ひやり無き仕方である。次に婦人は月に何日かは自由に缺勤し得る様にして置かねばならぬ。此點は國民保健の上より觀て是非法律を以て保護する様にする必要がある。最後に婦人は結婚後分娩すると多く止をむ得ず退職してしまふものであるが之れでは

折角熟練した技能が役に立たなくなるから託児所の如きものを備へて退職しなくともよい様にしてやらなければなるまい。此様に考へると職業婦人の増加に伴ひ其問題解決の前途は余程遠しの感がある。

### 木賃宿の女

二月五日、讀賣新聞所載に據れば、冬期の大雪は下層の労働者達に非常な影響を及ぼして三度の食を二食すると云ふ風にしてゐる。雪の跡のひどい泥濘にまみれた本所菊川町の邊りの木賃宿には男の労働者三千人の労働者五百人もゐるが、獨身の労働者は殆ど居ないと云ふ。女労働者には種々の犯罪が行はれるので當局者からも獨身の女を泊める事を禁じてゐる。故に女労働者は只形式だけでも夫と云ふ意味の者を持つてゐるのだ。併し戦亂中は女の賃銀も割合善かつたので獨りでゐる事も出来たが、當今では漸く日給三十五銭から四十銭位しか取れないから到底夫と云ふ後援者なしには生活し得ない。次に男女労働者共に其住居場所に依つて彼等の仕事が異なるもので、例へば本所業平町花町邊には田舎出の未熟な労働者が多く従つて獨身の女

労働者もゐる。彼等が漸次労働に熟練し來ると段々菊川町へ移つて來る。菊川町では男女共に収入も多くなり獨身の男女が結婚して仕舞ふ様になる。結婚した女が妊娠した時などにも子供のある女は外へ出ないで手袋とか袋張りとか云ふ極く賃銀の安い内職をし妊娠中でも労働を止めない。産も一帯に軽いと云ふ。

### 東京の女中拂底

戦後の労働者に動搖が在つても女中其他の雇人は依然拂底である。二月十五日の東京毎日新聞に據れば野上西黒門町の富士屋では女中丈で日々二百軒乃至三百軒の申込があるが辛ふじて、四五十人の女中を差向けるだけしか出来ない。女中の申込を受けて未だ應ずる事の出来ない家が二萬數千軒に達してゐる。女中志望者も近來は給金が必ず一圓は高い飯炊きを厭つて、好んで仲働きを望む。斯様に女中拂底の結果給金は追々高くなり普通で七八圓以上十圓見當、中には十三四の子守さへ七八圓出す向もある。又中には十圓、二十圓の懸賞付きで女中や乳母を捜す家もある。戦後は男女雇人が殖へるだらうとの一般の觀察は事實反對で殊

に茲二三年間田舎から来て口入屋に雇口を頼む女が殆んど無くなつたのは地方の上景氣にも因るであらう。だから地方が不景氣にならねば女中拂底の聲は絶へまい。

### 小樽の失業女工の淪落

小樽に於ける豆撰工場は戦時中其數四十餘箇所に達し、女工數亦六千五百餘名に及び、旺盛を極めし結果女工の爭奪も激しく、賃銀も多きは一日三圓も穫る者あり自然風俗も贅澤に流れて居た。然るに近來雜穀の暴落と共に豆撰工場の數は殆ど半數に減じてしまつたので女工の數も従つて亦半減してしまつた。而して此等失業の悲運を擔ふた女工等は眞面目の業務に就くのを厭ひ、却て賤業に身を墜す者頗る多いと云ふ。

### 長野縣に女工檢査會出でん

二月二十八日、岐阜日日新聞に依れば長野縣では昨今花柳病の傳播の餘りに盛なるを以つて其豫防方法として近く縣令を發布して同縣下七萬の女工に對し檢査的健康診斷をすると云ふ説があるといふ。同縣工女の

内病氣休業者の百人中二十七人迄は花柳病であると云ふ事だ、かゝる説を生むに至つた原因で其方法としては五十人以上の工女を使用する工場には工場醫を置かせて常に衛生に注意せしめる外年一回檢査されるのださうだ。此に對し各製絲工場は元より同縣に二萬數千の女工を送つてゐる山梨縣の方でも反對してゐる。因に新潟縣では以前から縣内から縣外より縣内へ出稼ぎ女子に對して檢査してゐるといふ。

### 東京同勞舍活版所の女工訓

練

東京麴町區六番町同勞舍活版所では心身養成の目的にて男女職工を軍隊式に教練し、毎日就業前後三十分宛擊劍又は竹銃教練を施して居るが其効果は良好にして流行性感冒の如きにかゝるものなく女工の體格も次第に立派になり言語動作も明瞭になつたと云ふ。

### 女事務員の増加

三月二十一日、東京朝日の所報によれば近來諸種の銀行會社大商店等で女事務員を要する事非常に多くな

り卒業期である東京市内の各女學校、女子高等小學校に向つて盛に勧誘状を出して居る會社銀行が多い様である。現に日本銀行では三十名、興業銀行では十五名等を要するのであるが、それ丈の應募者はない様である。使用者側の話にては女子使用の結果は成績良好であるが、漸く仕事に馴れた頃結婚の爲退職されるのは誠に困ると云ふ事である。月給は初任でも手當を合せ二十圓位、女學校出には二十五圓位であるが三年も勤めた者は四十圓以上を得て居ると云ふ。仕事の種類は従來男子のして居た仕事の内で比較的機械的な仕事例へば兌換券、債券の整理、電話の送受話等の業務である。

## 女子の求職者

東京市の三職業紹介所に於ける女子の求職者に就て三月七日のやまと新聞は次の如く報じて居る。

近來男子の求職者の比較的少いのを反して女子の求職者は比較的くなつた。是は戦時中俄かに男女工の需要が増加し、猫も杓子も工場通ひを始めたのが休戦になつてから工場側が女工を減らすとか賃銀を下げるとかするにかゝらず物價は一向に安くないから女中拂で給金のよいのを幸に、女工から女中に鞍替するものが多くなつた爲である。云々

## 女工の生活問題に關する生 江孝之氏の意見

三月二十八日讀賣新聞紙上に生江孝之氏は左の如き意見を述べた。

戦時軍需品の製造等で男工の數が増加したとは云へ、日本では矢張女工の數が多いのである。而して女工の五分の三は二十歳以下の婦女であるから、工場内に於ける彼等の生活は健康保存性格の向上に多大の影響がある。工場法に表はれた労働時間に就て云ふと、年齢十五歳以下の者及び女子は一日十二時間を越へてはならぬとなつて居るが、併し工場法實施後十五年間は一日二時間宛増加する事を許してゐるから實際は十四時間働かざるを得ないのである。其上多忙時には行政官の許可を得て十六時間迄女工を働かせ得るのである。即ち朝五時から夜の九時迄、又は朝六時から夜の十時迄働く事になるのである。是は資本家側の要求を主として設けられた規定で、甚だ不完全のものである。現今國際労働問題が起つて外國では男でさへ八時間労働を要求し家内工業の廢止さへ叫んで居る時であるから日本の工場法の時間の如きは是非改正しなければならぬ。日本の多數の労働者である女工が毎日長時間労働し其爲結核、胃腸病、脚氣の如き病氣に罹るもの多く、又精神上から云ふと醜惡なる刺戟を求め心身共に日に破壊しつゝある者が多いのは遺憾である。又我國女工の寄宿舎は實に慘憺たるもので、二階建の十五疊、二十疊の宅に大低一疊に一人宛の割合で詰込まれ、此様な家が四つか五つで千人位の女工の寄宿舎となつて居る。それが而も工場内にあるのであつて晝夜交代の連續作業であるから安眠出來ず神經衰弱にかゝる者多く、共同生活をしなから、同情心を失ひ自己的に流れ羞恥の念を失ふものが多い。此點に就て模範工場と云ふべきは岡山縣倉敷町の倉敷紡績の工



場である。此工場も理想的ではないが女工の寄宿舎は家庭組織として六疊と三疊との二室を一軒とし、之れを四軒集めて一棟とし一軒毎に各支那を有し、他の家へ行く様にしてある。床の間などもあつて普通の家庭に居るのと同様である。そして一軒の家に住む人数は五六人を限り、年末年始の禮には隣同志でもすると云ふ風にしてある。更に今月の始め見た時には四五年前と趣きを別にして中庭を圍んで幾棟かの建物があり、其他細かい點迄日を追ふて改良されて居た。其結果此工場では女工は家庭的の樂しみを有つてゐるから、溫柔で優美で緻密で女らしい女が多い、病人も尠く、勤続年限も改良後は三分の二程増加したそうである。尙同社長大原氏は近い將來に於て時間の制限も實行したい考を持つてゐる。

## 日本の女工と労働問題

警視廳の調査によれば東京府下には目下六萬の女工が居るが、其内十五歳以下十二歳迄の者五千七百四十五名十二歳以下十歳以上の者が三百三十七名ある。此等の少女の労働時間は一日十時間乃至十二時間であつて賃銀は二十五錢位より一圓五十錢位に至り中には二圓も得るのがあるが大抵は四五十錢の所である。此女工に就て警視廳山下工場課長の談として東京時事新報(三月三十一日)は我國の女子労働者が歐米の女工の様に自覺して來る事は殆ど想像されない。彼等は邊陲の地から直ちに一定の寄宿舎に容れられ、到底現代の風

潮を理解する丈の能力がない』云々と掲げて居る。

## 現在日本に於ける女子の内職

鐵道院に於て其従業員の家族に内職を奨励して生計の助けとなさしめやうとの議が起つてから(四月上旬)内職に關する種々の意見が發表せられた。内職を禁止すべきか否かについては相當に議論がある様であるが大體に於て日本では内職を奨励する方に意見が傾いて居る様であり且つ多數の労働者又は給料生活者の家族は内職を歓迎して居る様である。鐵道院でも木下中部管理局長は率先して自己の家族にも内職をなさしめ『内職の必要及其方法』に關して講師をして巡回講演をなさしむるなど色々世話をして居る。現在日本に如何なる方法に於て、如何なる種類の内職が行はれて居るかに就て都新聞四月十六、二十日の兩日は左の如く掲載して居る。

昨年十月東京府慈善協會の主催にて本所三笠尋常小學校で家庭内職展覽會が開かれ、今年三月更に研究的の家庭内職品の展覽會が催さるゝ筈になつて居たが會場の都合が暫く延期されて居る。諸婦人内職中最も出來易いものは紙を主材とした工藝品で五六の例を挙げ

ると即ち紙製の玩具類、ボール箱類、紙摺細工、敷紙類、紙袋草履スリツバの心紙、二開張類、包紙類、油紙類、封筒類、長門筒類、造花類等である。此内比較的需要の多いのは一開張類である。即ち妻楊子入、リボン及ピン入、半襟入、巻煙草文房具入等で、次にはボール箱摺細工等も相當に需要多く輸出も相當にある。其他紙張手箱紙製、玩具、造花、扇子團扇張り等も好い仕事とされて居る。扇子の製造は竹割、削り磨き、色着け仕上げ、地紙貼合、裝飾品附と云ふ様に種々の仕事に分れて居るが地紙折り、貼合、要附等は婦人を行ひ一日一人の工賃は十七八錢から二十五六錢になる團扇も骨の製造を除けば他は婦人の職業に適し、團扇を張つたり筋目立をしたりすると一日一人の工賃は四十錢位より五十五錢位までになる。尙葛細工、柳條細工、竹細工の如きは地方家庭の副業には此上もない其内職であるが都會では材料を求めたりするには不便がある。又古着古毛織物で下駄表草履等を作るのは有望な家庭職業の一つに數へられて居る、是等は古敷物専門の商店又は古物問屋と特約してやれば有利である。次に袋物類、刺繡、ミシン裁縫製作等は將來有益なる婦人の内職である。其需要は毎年五百萬圓以上あり、一年と需要は増加して居る。袋物類中學校生徒用カバン、草履袋等の製作は婦人が容易に着手することが出來其技術と材料仕入の如何に依つて幾分違ふが大體に於て日に六七十錢少し熟達せば一二圓の工賃を得るのは左迄困難でない。刺繡は手縫の方だと六七ヶ月も習得の時間を要するがミシン刺繡にせば一二ヶ月も習得せばよい。収益は達者の者は一ヶ月に三十圓乃至三十五圓、普通の者では其半額位である。併し品物を自分で仕入れて之に刺繡して之を商店に卸すときは尙一層利益がある。又ミシンは手ミシンでは習得に十數日踏ミシンで三四ヶ月を要するが、収入は商店等に雇はるゝ者では月給十八圓乃至二十五圓位である。紙内職でやる者は機械丈自分で持つて月收平均普通で五十錢乃至八十錢熟達者で八十錢乃至一圓二十錢である。其他パテンレース、ドロネオリと云ふ様な仕事があるが工賃は日に

十八錢乃至三十五六錢である。又麥科及經木眞田は月收大低三四十錢になる次に麻糸つなぎで日收十錢乃至十五錢、手袋、涎掛、チヨツキ、胴巻、靴下類の手編の内職で一日十四五錢乃至二十一二錢となる。造花は娯樂的趣味ありて内職として良好であるが方法の習得に困難の所があるのが難點である。以上述べた所を總合して東京で實際内職をして居る者で何程収益があるかと云ふと星印乙女帯一個六錢の工賃で一日四打作り二圓八十八錢おしめホルダー一個三錢の工賃で一日六打作り二圓六十錢の収益を得て居る者を筆頭とし其他種々の内職に就き一日の仕上げ賃を大體に觀察すると、カルタ貼十錢、玩具提灯十三錢、押笛四十五錢、伸縮面ツケ二十錢、伸縮仕上げ五十二錢、人形の子供着、半天被衣の仕立二十五錢より三十錢、人形の頸付け五十錢、人形の足くけ腕くけ四五錢、起上げ小法師製造七十錢、煙草の包紙糊付十錢打抜ボタン五十錢、靴下かぶり十五錢、手袋かぶり七錢、メリヤス糸操り六十五錢藤表編み三足として七十五錢、爪皮紐付二百足として二十八錢、同頸付三十錢、爪皮作りは千足として八十錢、筒封張二十錢、砂糖袋張三十錢、刺繡は並手一圓二十錢、上平二圓造花用針金作り二十本として二十三錢、石油罐洗ひ二十錢、足袋の甲馳かけ二百足で六十錢、麻糸つなぎ十五錢乃至四十錢納豆箱作り四十錢より七十錢、肩章しつけ、星つけ三十五錢より四十錢、進物用ボール箱張六七錢、輸出向編物製造三十錢より七十錢、燐寸箱貼二十四錢、同箱詰五六錢、造花作り、四十五錢乃至九十錢、團扇製作五六十錢、安全ピン、釦の製造及鑽つなぎ三十二錢鉛筆の仕上げ三十六錢、キヤラメル包二十錢、懷爐灰の結び又は灰袋貼四五十錢繩繼ぎ二十五錢、アンペラ修繕六十錢、クロモシ削り八九十錢、絞内職五十錢と云ふ状態である。

### 警視廳管下の看護婦

大正八年度警視廳管内看護婦試験は四月三日と六日

との兩日に東京芝區警官練習所が施行する事になつた  
 が出願者の數は七百名以上になつて居る本年度志願者  
 中の最年少者は一六歳で最年長者は四十歳である。現  
 在東京府下には約八千名の正準看護婦免許者ある譯で  
 あるが、其内には主婦たる者もあり又他府縣に行つて  
 居る者もある故實際働いてるのは約六七千であると云  
 ふ。此等は大抵看護婦會に入會して居て他に派出され  
 て居るのであるが、給料は正で二圓比で一圓五十錢以  
 上の日給を受けて居る。

### 女工の待遇と衛生

大阪毎日新聞四月八日所報を見るに、農商務省では  
 女工生活に對する大革新を企て囑託豊原又男氏を關西  
 各工場に派し、工女の保健状態を精査せしめた結果工  
 場主の所謂『勞働者福利増進設備』とは大低世間體を飾  
 る丈けの事で内容は頗る不完全不親切である事が解つ  
 た各工場近來の流行は職工慰安設備で活花、茶の湯女  
 禮式などを教へるのであるが、相手は十四時間の勞働  
 に疲れ切つた少女であるから覺える根氣があるもので  
 ない。寒空に衣服なき者に絹シヨールを與へたも同然

本末顛倒の甚しいものだ。統計に依ると製糸女工  
 萬人中八萬人は病氣の爲國へ歸るが之を調査すれば次  
 の様になる。

| 種 類 | 歸國職工病名千分比 |     |
|-----|-----------|-----|
|     | 肺結核       | 同疑似 |
| 紡 績 | 二六六       | 二一七 |
| 生 糸 | 三四        | 四七  |
| 織 物 | 二一〇       | 三八〇 |
| 製 麻 | 一一四       | 一一四 |
|     |           | 胃腸病 |
|     |           | 二八四 |
|     |           | 二〇  |
|     |           | 一一四 |

即ち國へ歸る紡績女工の中、千人に半分弱が肺結核又  
 は疑似のもので、國を出たる人の娘中三十人は其年に  
 肺で死し百三十八人は重い結核患者となる。然も今尙  
 工場主は大概此半虐殺的行爲を改めようとしなない。當  
 局は如何にもして大革新の策を建てねばならぬと云ふ  
 て居る。

### 富士瓦斯紡績會社程ヶ谷工 場長の女工家族訪問

四月九日東京時事新報の所報によれば富士瓦斯紡績  
 會社程ヶ谷工場長は同社女工の出身地を訪問して女工  
 の生活状態を説明し、且つ出身地父兄の意向を尋ねる  
 ことにしたと云ふ尙同工場長の言として左の如き意味

の談があつた。

「勞働問題は種々に論じられてるが實際に局に當つて觀ると日本の勞働問題は「家族的」と云ふことを離れる事は出來ぬ例令ば或職工に何か世話を焼いてやると大抵其父兄が本人に代つて御禮に來る。現在此社會には東北出の女工多く寄宿丈にても三千八九百人居る此等の女工の日常生活の状況を其父兄に告げ、又父兄の考へて居る不平なり喜びなりを知りたい爲に東北地方の女工出身地を訪ふのであるが、之に依つて本人と家族、家族と會社との三者間を溫情的に結合したい云々」

## 全國救濟事業に働いて居る

### 婦人

内務省救護課の調査によれば現在(八年四月)婦人のたづさはつて居る感化救濟事業數は全國で六百九十三であるが、其内婦人の従業者の最も多いのは幼兒保育事業であつて最も少いのは職業紹介、宿泊救護等の事業である。而して幼兒保育院、養老院、施藥窮民救助、職業紹介、宿泊救護等の事業に働く人は總體で五千四百二十名程あるが其内三分の一即ち千八百餘名は婦人である。

## 大阪府下の女工と其出産状態

大阪府衛生課にては府下女工の生産状態に就いて調

査を發表したが(四月)之れによれば女工の出産した嬰兒の死亡率は普通女子の出産した嬰兒の死亡率に比較して著しく高率を示して居る。即ち女工の出産した嬰兒の死亡率は一歳以下では百人中三十二人、二歳以下では百人中八人六分、三歳以下では百人中三人、四歳以下では二人と云ふ状態である。其原因は母體が常に過激なる勞働に従事して居る影響もあるが、一面には工場法の不備に基くものである例へば工場法では妊婦に對する保護として單に産後五週間以内の者の使用を禁止、若しくは三週間經過した者に醫師の意見を徴して支障のないと認めらるゝ業務に就かしむる事を許す丈けで、産前の者に對しては何等の保護を規定して居ない。それ故殘虐な資本家は分娩月迄妊婦を使用し、就中紡績業などでは分娩の間際迄使用して居る現況である。此不完全なる制度其ものが女工の嬰兒をして多數に死亡せしめる有力なる原因なのである。尙單に嬰兒の死亡率のみならず其母體たる女工其自身の死亡率の多い事も驚くべきである。現在大阪府下には生殖方旺盛なる婦人乃ち十八歳より三十四五歳位迄の婦人の數は七十八萬八千九十八人であるが其内女工は八萬

一千九百五十九人である。而して此等の女工は多くは紡績染織の工場に入りて呼吸器病、脚氣其他内臓疾患に罹り、其結果不歸の客となる者頗る多いのである。其爲大阪府に於ては女子の死亡率非常に多く其點に於ては全國中第一位にあるのである。

## 婦人思想の變化

東京遞信省の天岡爲替貯金管理局長の談として新聞紙の報ずる所によれば一般婦人勞働者の思想が非常に過激になつて來たのは事實で、夫と同時に職業に對する觀念が大いに發達して來た。自分は普通の婦人勞働者とは直接關係がないので其方の事は知らぬが此爲替貯金局に居る八百人の女事務員の戰後思想の一變化したのに驚いてゐる。一例を擧ぐれば此頃女の本能である虚榮心から大いに遠ざかつて來た事である。此局内には娛樂機關としてピアノを備付けてあるが是迄何時の休時間にも之を奪合つて居たのであるが昨今では夫を顧みなくなつた。又一週一度宛活花の師匠を招いて望みの者に稽古をさしてゐるが其方も昨今グット閑散になつた。夫等の者は六ヶ敷い婦人雜誌等を好んで讀む

やうになつたのである。只氣の毒に思つてゐるのは此局計りではなく一般婦人に對する勞働時間の長い事である。殊に此處では正月前、花見時、盆前と云つた様に殆ど年中息を吐く暇がない。それに就いても色々な不平や意見もあるだらうが夫を取締る階級の人が男なのでどうもよく判らない。是には相當教育あり、理解ある婦人高梨女史だの與謝野女史などに取締つて貰へば非常に好都合だと思ふ。

## 女工募集と女工の保護

四月十九日、大阪新報所報によれば近來大阪朝日橋署には女工の親元から女工の呼戻願が續々來ると云ふことである。之につき其原因とも云ふべきは左の如くであると同署では語つて居る。

女工の呼戻は(一)女工が悪勸誘員の口車に乗つて工場へ來て觀て話と事實との豫想外の相違に驚いて早く歸國出來る様に親元に要求した爲め、(二)親權者が娘の轉勤をさせる爲め、(三)家庭の都合で呼戻すのとの三つが原因である。其内(一)が過半を占めて居る。併し警察へ歸郷願を出したからと直ぐ歸れる譯ではない。此旨を會社に談すと會社からは借金を返せと云ふ、何にも知らない女工は其一言に脅かされて泣く泣く業務に服して居る。そこで會社側は借金を楯に取つて何處迄も女工を壓迫して彼等に勞働を強制するのである。此様な場合は法律上の手續さへしたならば單に借金云々を以

て人身を束縛される理由はない。それ故朝日橋署では此窮境にある女工に關して新に工女保護の一機關を設けやうと考へて居る。

## 東京砲兵工廠内に哺乳場の設置

### 設置

東京砲兵工廠では今回廠内三ヶ所に哺乳場を作り、表門、山上門及稻荷門の三門から其最寄りに従ふて子供なり老人なりが嬰兒を背負ふて來ると、九時半から十五分、十二時から三十分、三時から十五分、五時から十五分の各休憩時間に哺乳せしめると云ふので、其爲め各女工は尠くとも工廠から飛び離れた所に住所がない限り日に二三回は自分の子供に哺乳が出來ると云ふ。

## 日曜毎に女工の休業

東京府主催工場主懇話會では日曜毎に女工を休業させる事を協議した。反對説は月二回の休日をも四回以上とすると作業の遅滞、動力の空費、休日の不確定、賃銀支拂の煩瑣等の不便を理由としたが賛成説は子女と家婦との休日の一定、風紀の改善、職人日と云ふ特殊觀念の排除、作業能率の増大等を主張し結局賛成説の

通りに決定するらしい。聞く所によると日曜休業反對の最も有力なる理由は全部日曜を同時に休みにすると各工場の女工等が互に落合ふて賃銀のよい工場へ轉勤する様に相談するからであると云ふ。(四月二十三日讀賣)

## 東京砲兵工廠の女工狀況

東京砲兵工廠には六千人の女工が居る。作業種別は輪削工、仕上工、調質工、鋸金工、壓搾工、壓延工、塗工、機木工、製鞍工、火薬工等種々あるので、其他に交換手、雜役婦、看護婦、筆工等として居る者も相當にある。就業時間は午前七時より午後七時迄で女工に夜業はない。休業時間は午前九時、午後三時、五時の各十五分及び正午三十分ある。年齢は最少が十五歳最長は五十九歳であるが十八歳乃至二十六歳位が最多數である。給料は日給で最少は月に十五圓、最大は五十圓である。休日は日曜、祭日、年末、年始、陸軍の祭日等であるが、女工には休日にも就業を希望する者が多いから多忙の時は随意に働かせると云ふ。又女工の産前は一週間、産後は五週間休業させ其間は賃銀

の半額を支給して居る。職務上の病氣は一切工場で費用を出すのであるが私症でも缺勤の時始めの一週間は本給を、八日目から五十日間は日給半額宛を支拂ふて居る。朝は出勤と同時に作業服に着換へて男工と共同に作業するのである、辨當を持参しない者には工廠内で七錢乃至十六錢の辨當を賣つて居る。一ヶ月に一度宛衛生講話が正午後三十分間ある。仕事は班長監督の下に行はれるのである。

### 女學校生徒の婦人職業に對する感想

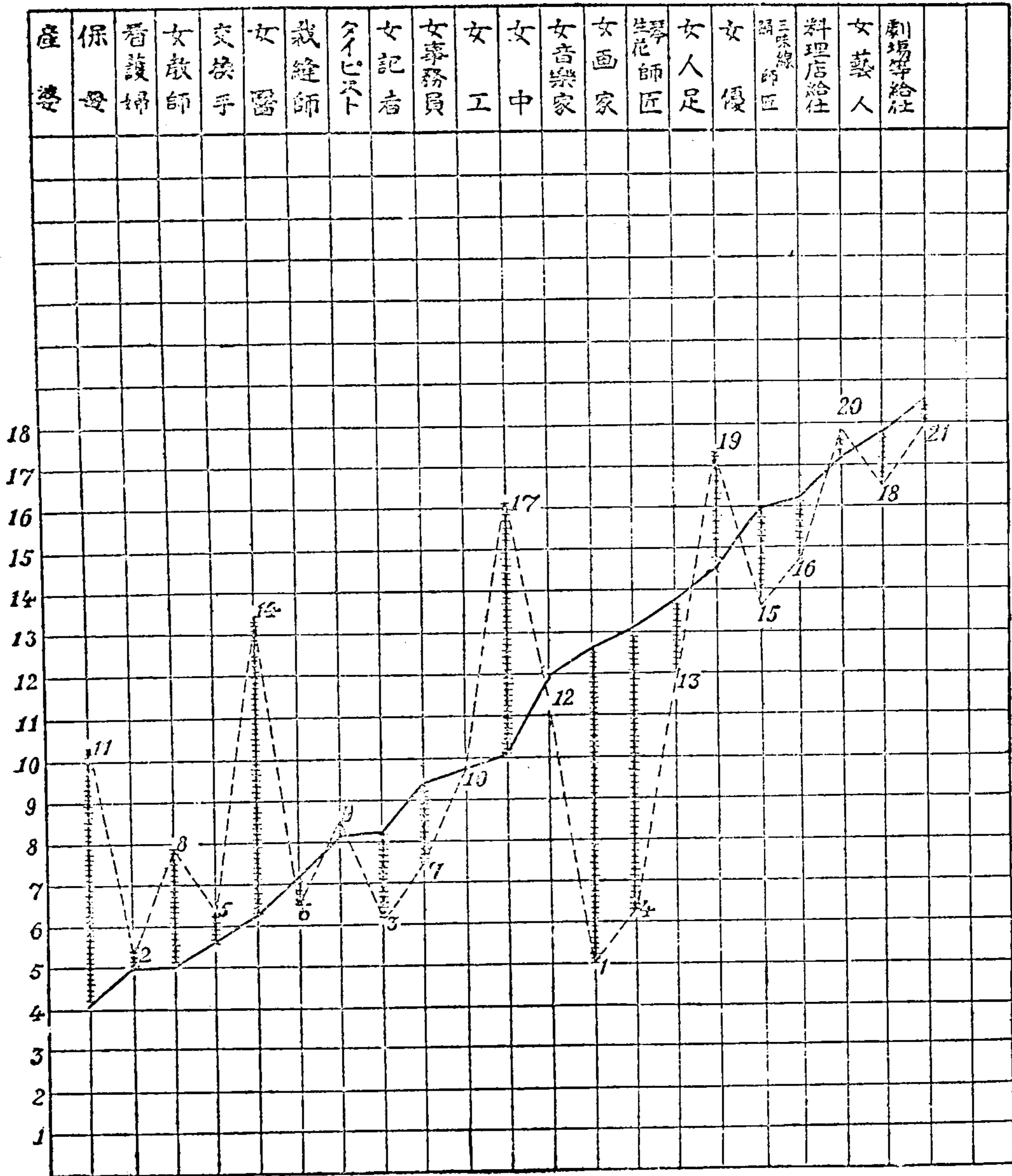
本年六月、大阪府立清水谷高等女學校第四學年生約八十名に就いて彼等の職業に對する感想を左の方法を以て吾人が調査した處次の様な結果を得た。

(一) 左記二十一の職業につき各自が選擇せんとする場合には何れを第一とし何れを最後とするか其順序を數字で記入させた。正確な答をした者は五人であつた。(點數合計は各生徒が記入した數字の點數を各職業別に總計したもの、平均は同上を五十人で割つたもの、順位は平均點最少のものを一位とした)

#### 婦人職業問題

| 職業     | 點數合計 | 平均    | 順位 |
|--------|------|-------|----|
| 裁縫師    | 四二五  | 八、五〇  | 一九 |
| 産婆     | 五一八  | 一〇、三六 | 一  |
| 女教師    | 三一六  | 六、三二  | 五  |
| 保母     | 二八二  | 五、二四  | 二  |
| 女記者    | 三七四  | 七、四八  | 七  |
| 女工     | 八一   | 一六、二二 | 一七 |
| タイピスト  | 三〇八  | 六、一六  | 三  |
| 女事務員   | 四九一  | 九、八二  | 〇  |
| 女中     | 五八二  | 一一、六四 | 二  |
| 女足     | 八六八  | 一七、三六 | 九  |
| 交換手    | 六七九  | 一三、五八 | 四  |
| 看護婦    | 三九〇  | 七、八〇  | 八  |
| 女醫師    | 三二四  | 六、四八  | 六  |
| 女音楽家   | 二五〇  | 五、〇〇  | 一  |
| 女優     | 六七九  | 一三、五八 | 五  |
| 女義太夫   | 八二一  | 一六、四二 | 一八 |
| 女琴生花師匠 | 五九三  | 一一、八六 | 一三 |
| 三味線踊師匠 | 七三三  | 一四、六六 | 一六 |
| 料理屋ノ給仕 | 八九三  | 一七、八六 | 二〇 |
| 劇場等案内人 | 八九四  | 一七、八八 | 二一 |
| 女畫師    | 三一五  | 六、三〇  | 四  |

(二) 社會的有用の點より云へば孰れが第一で孰れが最後であるか其順序を數字で番號を附せしめた處正確な答をした者は七十三名であつた。





|             |       |       |    |
|-------------|-------|-------|----|
| 女 教師        | 四〇五   | 五、五四  | 二四 |
| 保 母         | 三六六   | 五、〇〇  | 一九 |
| 女 工         | 六八七   | 九、四一  | 一九 |
| 女 工         | 七三四   | 一〇、〇五 | 一  |
| タイピスト       | 六〇〇   | 八、二二  | 一  |
| 女 事務員       | 七〇九   | 九、七一  | 一〇 |
| 女 中         | 八七八   | 一二、〇三 | 二〇 |
| 女 人         | 一、〇六四 | 一四、五八 | 二六 |
| 交 換 手       | 四五九   | 六、二九  | 五六 |
| 看 護 婦       | 三六六   | 五、〇〇  | 三五 |
| 女 醫         | 五二二   | 七、一五  | 三六 |
| 女 音 樂 家     | 九二一   | 一二、六一 | 三  |
| 女 優         | 一、一六四 | 一五、九七 | 一七 |
| 女 義 太 夫     | 一、二九九 | 一七、七九 | 二〇 |
| 琴 生 花 師 匠   | 一、〇〇八 | 一三、八一 | 一五 |
| 三 味 線 師 匠   | 一、一八九 | 一六、二八 | 一八 |
| 料 理 屋 ノ 給 仕 | 一、二六二 | 一七、二八 | 一九 |
| 劇 場 等 案 内 人 | 一、三六一 | 一八、六四 | 二一 |
| 女 畫 家       | 九五四   | 一三、〇三 | 一四 |

(三) 以上兩種の間に答へられた一と二との場合の平均點數を線で示すと五八二頁の様になる。

一、—— 社會的有用(七十二人の答の平均點數)

二、…… 自己の選擇(五十人の答の平均點數)

三、—— 兩者の差

(一)の線より下方に引かれた差線は社會的有用よりも自己の選擇の優れる程度を示し、上方に引かれた

差線は其反對をあらはす事になる。圖中の數字は自己選擇の點から見た時の番號である)

### 家庭内職の會社設立計畫

六月二十五日讀賣新聞紙上に井出女史の意見として今日一般に俸給生活をする中流家庭の婦人は無爲に消光する者多く、従つて生活難の聲は何時迄も消えない。此點を救濟し、家庭に内職を奨励する爲、有力者の後援を得て、内職の材料を供給し、製品を取り纏め健全なる會社を起したいと思ふ云々と報じて居る。

### 婦人労働者与其智識の程度

七月十九日に友愛會會長鈴木文治氏歡迎會が東京麴町富士見軒で開かれ其席上東京モスリンの山内某富士紡績の野村某、榊原某の三女工は友愛會婦人會員の代表者として會長歡迎の席に別した。今三女工が現下の女工の状態を訴へて居る所を綜合して觀るに大凡左の如きものがある。

一、目下の女工は労働問題などと云ふ事を殆んど考へる程の智識を持たない。義務教育を終らぬ者が多く工場生活に入るのであるから賃銀五割値上と云ふ事を云ふても何を意味するかも理解せず五

態とは五錢と同一だと思ふ者すらある。

- 二、女工の大低の慾望は智識の慾求や生活の向上ではなく主として閑食と居眠りと休日安い活動や芝居を觀る事とである。従つてこれ等の女工に書物を読む習慣や懇談的講話會に集る習慣などつける事は非常に骨の折れる事である。
- 三、それ故に女工を導いて行かうとするには智識の第一歩から始めなければならぬ。始めから普通の常識ある人と思ふて世話を焼いても双方共難義をするばかりである。

### 紡績業と女工の減少

八年に入つてから綿絲は今日迄(七月)騰貴の一方であるが今其出來高と價格と女工との關係に就て七月十日大阪毎日紙の報ずる所は左の如くである。

|       |           |           |
|-------|-----------|-----------|
| 綿糸出來高 | 本年一月ヨリ四月迄 | 昨年一月ヨリ四月迄 |
| 同 輸出高 | 六〇七、四八五捆  | 六一四、三六三捆  |
| 差引在高  | 一〇八、九七九   | 一二五、九三四   |
|       | 四九八、五〇六   | 四八八、四二九   |

即ち出來高は昨年よりく少なく在高は昨年よりも大である。而も價格の騰貴をつよける所以は(一)出來高の小なると(二)これに反比例して内地の需要の増加したのにあるのである。其輸出價格に就て見るに今年は昨年より相數少なきも金高に於て多く四ヶ間に一億一千四十五萬六千圓に達し昨年同期よりは四千四百四十五萬八千圓即ち六割七分の増加を示して居る之に由つて觀るも内地購買力多きを知るに足る。此内地需要の増加は主として(一)米高による地方の實力の増加(二)戰時好況に基づく一般富力の増加に基くのであるが之に反する生産高の減少は一には原綿需要の不充分にもよるならんも其主因は女工の減少と云ふ點にあるのである。今紡績工場の女工狀

態を見るに左の如くである。

|     |         |         |        |
|-----|---------|---------|--------|
|     | 本年四月    | 昨年四月    | 比較増    |
| 男 工 | 二九・六〇四人 | 二六・九五一人 | 二・六五三人 |
| 女 工 | 九八・六二二人 | 一〇一・四〇〇 | 減二・五七八 |
| 男賃銀 | 八一・二錢   | 六二・九錢   | 一八・三錢  |
| 女賃銀 | 五八・五    | 四三・九    | 一四・六   |

即ち男工は増加して居るが女工は減じて居る。而も紡績業は男工數の増加と同時に女工數を増加すべき性質のものであるのに上述の如き現象を觀るのは全く賃銀の過少のために基づくものと思はれる。勿論昨年の賃銀に比較したならば十四錢六厘の増給即ち三割餘の値上となつて居るが其絶對數たる五十八錢五厘たるものが既に今月の生活狀態から觀れば甚だ低廉なる賃銀に安んじて最も苦痛と罹病率との多い紡績業に従ふ女工が日に日に減少するは又當然の事である。勿論女工減少の理由は賃銀の事情以外に(一)地方好況の爲都會に出る者少なき事(二)地方的産業振作の爲め地方廳が出稼制限の方針を採つた事等種々の原因もあらんが其最も要たる原因は女工の賃銀が餘り過少であると云ふ點にある。云々

### 女子勞働組合設立説

八月初め頃より、平塚雷鳥、山川菊枝、與謝野晶子市川房江の四女史合同の上女子勞働組合設立の運動を初めるてふ説が立つたが、四氏合同は可成り根據あるらしいが、果して純然たる上からのみで勞働組合が成立するや否や。然し平塚女史が各地の女工の狀態を見物して歩いてゐたのは事實だから、案外いゝものが生

れるかも知れない。尙女子労働組合成立説に關しては十一月初め大阪方面で宇野利右衛門氏が紡績女工を集めて一種の組合を作る計畫があるとか傳へられて居た

### 飛彈高山の女工労働組合

八月五日大阪毎日紙に依れば、飛驒高山町では郡長警察署長町村長等の主唱盡力で『女工労働組合』を各町村に設置する事と決し、既に設置した處もあるその目的は岐阜縣より年々他府縣へ出稼ぎする女工が増加する一方なので其女工募集に伴ふ弊害は非常に多い。夫等を救ふ爲めである。此組合の仕事は、(一)女工募集員の手に掛けなで組合の手で工場に周旋する事(二)組合は時々出稼先の工場に於ける女工の生活状態を調査して保護を加へる事、(三)絲仕舞で歸郷中には簡易な教育を施す事等である。

### 女工の指導に必要な監督

### 婦人の養成

八月十一日の讀賣新聞によれば東京慈善協會は女工等の指導に適當なる婦人を養成せんとし先づ現在東京

女子大學生徒である吉岡福子氏を委託生として將來此方面に働いて貰ふ事にしたといふ。尙同協會では經費さへあれば幾人も委託生を募る考であるといふ。

### 名古屋各工場の女工出迎景

### 況

八月十四日、新愛知所載に依れば、半期間働いて儲けた金で故郷の舊盆に歸つて生々とした心持になつた女工達が再び冷たい工場に歸る爲めに汽車で名古屋に送られて來る女工数は、十二日のみで名古屋驛では千數百名に上り、十三日も各列車乗客の約半數は女工である。それを迎ふる各工場では赤青紫の大旗に各々會社名を染抜いたのを押し立て、驛前旅館の休憩所に送り込む。背負つてゐた荷物類は叮嚀に受取つて用意の幾臺かの運送馬車に積込むと云ふ有様で驛前には十數臺の運送馬車がズラリと並ぶ。更に洋服姿の社員事務員等が女工の機嫌取りに接待するも滑稽に見える。

### 友愛會婦人部獨立案

九月一日友愛會大會第二日に於て神戸、南千住江東

の各支部から建議した同會婦人部獨立案が、上議された。現在男女労働者百三十萬の中女子は八十五萬の多數である。然るに本會々員たる婦人は僅かに千二百餘名に過ぎないのは其組織に缺陷あるが爲である。婦人部には婦人の主事を置くと共に徹底的な改善を施さなくてはならぬとの説明の後富士瓦斯紡績押上工場の女工野村槌野は婦人代議員として起ち婦人部の獨立は婦人の結束上最も必要なもので治安警察法の婦人に政談演説を聞かしのめない事及同法第十七條の撤廢運動の急先鋒たるべきものであると思ふ。尙婦人労働雑誌の内容を豊富にし婦人記者をして筆を取らせる事を希望する」と述べかくて此問題は各支部の委員及野村山田の二代議員とを如へて十三名の委員附托となつた。

### 鐵道院の婦人従業員生活調査

鐵道院では九月から婦人従業員六千人の生活状態を調査する爲に鈴木某、杉山某の二名の女事務員を各管理局に出張せしめ、大停車場、被服所、機關庫工場等を巡視せしめ、女子従業員の労働時間、風紀、保健、

知識、娛樂、家庭關係等を調査せしめると云ふ。

### 農商務省の産期保護に関する調査

九月中旬農商務省では東京地方の紡績、紡織、印刷製菓等の各工場に對し警視廳を介して、女工問題に關し左の如き問合せの通牒を出した。

(一)工場女工に對し既往一ヶ年間に出生前後休業期間中工場より扶助したる事ありや(二)若しありとせばその扶助期間は産前産後何週間なりや(三)扶助額は如何なる割合にて支給したりや(四)扶助を爲した外に金錢を支給したりや(五)單に金錢のみなりしか(六)扶助を受けたる女工の數は幾人なるか。

### 婦人愛勞會の婦人労働大會

十月二日午後東京神田青年會館に婦人愛勞會主催の婦人労働大會が開かれた。和田うめを、黒崎悦子、吉川たみ子氏等の演説に次いで會長西田陶子氏登壇して澁澤男より五萬圓支出を受くる約束があるので夫れを以つて國際労働會議に出張して婦人労働者地位改善並に國家の爲めに暗中飛躍を試みなどと述べて午後六時頃散會した。

## 友愛會婦人大會

國際勞働會議に出席する委員特に婦人顧問に對し實際に勞働に従事する婦人勞働者の眞の要求を告げる目的で友愛會婦人部は十月五日午後七時より東京本所區中ノ郷業平小學校に於て婦人勞働大會を開いた。當夜は婦人顧問田中孝子女史を始めとし平塚、山川、與謝野和田等の婦人勞働の研究者を招待し八名の女工が彼等の經驗した事實から女工生活の改善に就いて熱辯を振ふた。其要求の大要は夜業を廢止すること、食物をよくする事、病中の待遇をよくする事、事務員が女工に對する態度をよくする事、重病になつて歸らせる時病名や病状態を明言する事、夜學、讀書、外出、慰安の時をより多く與へる事、賃銀値上、衛生設備の完全等であつた。無智の女工は只賃銀値上を慾するが少しく覺めた女工等は夜業の廢止、待遇改善を主として叫ぶ様である。

## 紡績女工組合成立説

十一月初めより大阪製麻株式會社の女工を中心とし

て一つの組合を組織すべく大阪の宇野利右衛門氏が奔走してゐたが、漸く小團體が成立する見込がついたと云ふ事であつた。

## 東京實業組合聯合會の婦人及幼工勞働制限

十一月二十日、東京實業組合聯合會は婦人及幼年工の勞働問題に就いて全委員會を開き決議を發表した。

- 一、深夜の就業を禁止す(特種のものに期間を置く)
- 二、最低年齢を十四歳以上とす
- 三、保護年齢を十七歳未満とす
- 四、出産前後の休養を六週間幼児保護機關は其の他區内の工場主と協定施設する事
- 五、黄燐燐寸の製造を禁止する事

## 東京市内婦人活版印刷組合の設立

十一月三十日、東京神田三秀舎の女工約二十名は茶話會を開き、市内婦人活版印刷工組合設立の件を協議した。同夜は山川菊枝、伊藤野枝の兩女史を顧問とする件及び築地活版の女工約百名とし會合して愈々組合設立の運動に着手する件を決定した。

## 中央處女會の女工紹介

十二月上旬東京の處女會中央部では女工の待遇優良なる各工場に女工紹介の事業を營む事に決定した。同會の取扱ふた所によると女工の八割は農家の娘であつて、女工志願の原因は(一)家計の補助(二)結婚の準備(三)一家の不幸救済等である。

### 新婦人協會の設立

十二月中旬平塚雷鳥女史主となりて東京に新婦人協會が設立された事業は次の様なもので財團法人と爲す積りである。

- 一、常設婦人講演會一、労働婦人の教育機關設置三、婦人問題労働問題等の巡回講演四、婦人に對する特殊問題の研究會五、機關雜誌『女性同盟』發刊、六講堂設立、七、婦人共同宿泊所、婦人簡易食堂其他

### 婦人車掌の募集

十二月下旬、東京市街自動車會社は婦人車掌募集の廣告を各新聞に出した。其條件は一、年齢十八歳以上身體健全なる者一、勤務先新宿乗合自動車營業所一、初任月收參拾五圓以上である。因に我國に於て十二三年前高松琴平間の鐵道乗務員に女子が使用された事あり最近には岐阜地方の電車車掌に婦人が使用されたが帝都の中央交通機關に婦人が乗務員として使用さるゝ

のは今回が始めてである。

### 富山縣女教員の婦人運動

富山縣射水郡内の小學女教員等は今日婦人の無能力視されて居るのを憤慨し女子の解放と自覺と向上を社會に宣傳すべく冬季休暇を利用して先づ縣下の女教員間に檄を飛ばし延いては縣内の一般婦人間に及さんとの意氣込であつた。大要左の如き宣言書を發表した。

從來吾々女教員は男教員に比し無能力であるとせられ其多くは自己の職務を内職的視して居るとまで非難せられた。けれど吾等女教員は女子として特長を有し自己の職務に對する良心を有して居るものである。今日迄吾等女教員は只沈黙を守つて職員會研究會の席上に於ても公然と意見を發表する勇氣なく而して不平を懷いてゐた。今日の時代はかゝる時代でない。歐洲の戦争は女子の威大なる能力を示したではないか、吾等は起つて女子自覺の爲に戰鬥を開始すべきである。

此事が縣郡當局の耳に達するや忽ち主唱者を物色し初め、夫等有志女教員の多數の出身校たる高岡高等女學校も之を危険思想となして出身者の素行言動を取調べて二十四日頃射水郡大島村小學校の西川女教員と斷定したので郡視學は早速同女史に就いて取調べを行つた。之等の處置に對し一部女教員は非常に憤慨してゐると云ふ。